様式第３号（第６条関係）別紙

議員特別研修実施報告書

報告議員名	斎藤光司	報告日	31年3月27日
調査研究・研修等 名　　称	①立地適正化計画について ②地域公共交通網形成計画について	③人のひきこもり問題を考える。	
実　施　日	①と②．30年3月25日．③ 30年3月26日		
会　　場	TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター		
調査研究・研修等の 概　　要	①・コンパクトシティ＋ネットワークの目的 ・立地適正化計画の概要 ・公的不動産と民間施設の融合 ②・地域公共交通の現状 ・〃　の選択肢と運行主体 ・たまされない交通統計 ・網形成計画の策定状況と見直し時のポイント ③①ひきこもりの現状と課題、②合理的社会投資としての若者支援 ③行政支援の現状と課題、④これからの支援のポイント。		
調査研究・研修等の 成果と感想	①②とも、我が市でも手をつけている。 全国的にも先頭を走っていると考えて良い。 しかし、市として単位面積当たりの人口密度が低下していく時に、行政として、支えきれるか、改めて現在の当市の施策を認めながら、特徴点に対しての工夫と覚悟を改めて考えさせる研修だった。 ③に対しては、当市でも潜在的にある深刻な問題と捉えてはいたが、今回の研修によって、将来の自治体経営に大きな影響があることをあらためて自覚をした。80：50の問題の解決のためには50：30のうちに解決を計る。50：20の解決のためには、子供の不登校対策に力をいれる。		

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。

※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。

又、行政支援としては効果が見えずらいが、さけては通れない。
まずは家庭教育支援が効果のために有効であるという講師の実体験を踏まえての2時間30分、経験を踏まえての提言に久しぶりに感動を覚えた。